



## No.08

# 金沢医療センター

Interview  
越田 潔/院長

# 院内オーケストラ

音楽の力で人々の心がつながる

2017年4月30日、国内有数の高い音響特性を持つ石川県立音楽堂のコンサートホールは、1,200名を超える聴衆のスタンディングオペレーションに包まれていました。金沢医療センター（石川県金沢市）のロビーで、たった3名の医師が始めたコンサートは、13年の時を経て61名も出演するオーケストラとして大きく花開きました。

「楽譜を見失うほどの緊張でした」と懐かしそうに振り返る越田院長が、院内のロビーで伊勢拓之医師（現石川病院院長）と瀧口哲也医師（耳鼻咽喉科部長）とともに初めて演奏したのは、2004年6月のことでした。「とりあえず1回」というつもりで開催した院内コンサートは予想外の反響があり、「私も出演できますか?」という職員からの問い合わせが舞い込んだとい

います。『入院生活に潤いの場を提供する』というコンセプトのもと企画された院内コンサートは、多くの医療関係者を引き寄せ、回を重ねるごとにメンバーが増えていきました。2014年2月にグランド



毎回130名あまりの聴衆を集める、講堂での院内コンサートの様子。最前列の聴衆は演奏者とわずか1mあまりの距離で、本格的なオーケストラを体感できる

石川県立音楽堂で2度目の演奏をするメディカルオーケストラ金沢のメンバー（2018年8月26日に開催された「第10回記念コンサート」の様子）  
\*当日の様子はインターネットで動画配信中（「メディカルオーケストラ金沢」で検索）



「第10回記念コンサート」の告知ポスター。ポスターはメンバーによる手作り、チケットの作成や当日のマネジメントなどもメンバーが担当した

ピアノが新調されたのを機に、30名の医師から成る記念コンサートが院内で開催され、“オーケストラ”へと飛躍しました（後日、メディカルオーケストラ金沢と命名）。そして、継続的な活動が評価され、石川県立音楽堂という憧れの舞台に立つ機会を得たのです。

院内コンサートはこれまでに90回開催され、出演メンバーは150名以上にのぼります。長い活動の中で、メンバーは院内の医師や看護師・薬剤師・臨床検査技師などとどまらず、近隣病院の医師や地域の開業医、あるいは医学生や市の職員まで広がり、音楽を通じてつながる貴重なネットワークにもなっています。

越田院長と瀧口部長は、「普段とは違った私たちの一面を見てもらえる機会があるということは、実はとても大切なことではないでしょうか」と評します。医療関係者の生き生きとした姿は、患者さんやご家族に元気と安心を与えていることでしょう。また、練習で顔を合わ

すと自然に地域医療の話になり、金沢医療センターの医師と開業医、市の職員などが集まって“地域連携”が生まれているといえます。「次に考えていることがないわけではありません」と笑顔で話す越田院長の姿から、さらなる進化が期待できそうです。



金沢大学の臨床教授でもある瀧口耳鼻咽喉科部長は「医学部学生は皆さん楽器が上手で、授業では私が指導していますが、演奏となると立場が逆転しているような…」というエピソードを楽しそうに話してくれた。指導者と学生との特別なつながりが生まれることも、予想していなかった効果だとい



チェロを演奏する越田院長



## 金沢医療センター (石川県金沢市)

許可病床数554床。地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・災害拠点病院・臨床研修指定病院などの指定を受けた高度総合医療施設。すぐ隣には日本三名園の一つである兼六園があり、歴史ある恵まれた環境に立地している。